

第23年度 事業報告のまとめ

事業の目標

「新たな拠点を整備しつつも、これからの事業のあり方を模索した一年でした。」

事務所移転とコロナの事業への影響

この1年間もコロナの影響を大きく受け、事業の内容を変更や中止・延期となり、計画どおりとはいきませんでした。計画としては、昨年度のこどもフェスタのように小規模でも活動を行い続けることを検討しておりましたが、実際には社会的にもコロナによる自粛期間も長く、実施の見通しが立たず、ごくわずかな事業（人形劇や町たんけんの一部など）のみの実施となりました。一方で、げんきスポット0-3や楽習サポートのびのびといった日常的に実施される事業については、行政の制限も徐々に少なくなり、感染対策をしながら実施することができました。あわせて事業計画にあった運営の見直しでは、事務所の移転を終えることができました。家賃支出などの見直しやげんきスポット0-3との連携がより図りやすい環境となりました。

再始動の難しさと連携先の状況の変化

コロナで実施できないなか、これからの事業への思いや、新しい活動のアイデアなどはこの一年間も寄せていただきました。わんぱくクラブやこどもフェスタについてはこれまで長い間取り組んできたものであり、現在は中止となっていますが、再開を視野にはいれています。しかしながらこの2年間で一度活動を支えていた多くのボランティアとの関係や運営体制の再調整といったことは人の入れ替わりもありすぐには難しく、実施とはいきませんでした。あわせて各事業で連携している地域団体や各施設などもコロナで多くの行事がなくなることや、会場として使用ができない、また活動場所の変更や各団体の運営の変化など状況が変化してきていることもあり、これまでと同様の事業を行うには連携先へのまた違った協力や自力での会場確保といった対応を求められる状況も生まれつつあります。新年度に多くの活動を行なっていくためには、各事業の活動体制や連携先への協力などより活動基盤の強化から取り組む必要がでてきており、再始動の難しさを再認識した一年でもありました。

活動基盤の見直し

昨年に引き続き、運営面では、対外的に収入をえてきた講演会や、講演会の機会にご協力いただいた募金、またチャリティイベントなどの収益からいただいていたご寄付などがなくなりました。また手数料の値上がりなどもあり会費の納入方法をクレジットカード決済を中心にしたことで、その移行手続きとあわせて会員継続の確認などを行なった結果会費収入が減少ともなりました。あわせて収益がそれほど多くなかったとはいえ、各自主事業やこどもフェスタでは毎年収益がありました。今回はそれがすべてなくなりました。移転についてのご寄付や委託や補助事業によって事業実施はできましたが、コロナの影響で委託事業内での人件費があがったことや、緊急支援的な動きによっての経費の上昇もあり、支出が抑えきれない状況もあり、結果、厳しい決算となりました。会員やボランティアの交流なども難しく、こどもフェスタもできなかったなかつながりが弱まっている部分もありますので、これまでのような活動を再開していくためには、その点についての動きが必要となります。

以上のようなことから以下4点が今後の課題となります。

1. 各活動の再開や会員・ボランティアなどの交流
2. これからの事業実施体制の見直しと整備
3. 財政基盤の見直し（自主財源比率の向上）
4. 新拠点（事務所）を活用した日常的な交流活動

法人全体 <総会ならびに会議報告>

【第23年度通常総会】

日時・場所 2021年5月23日(日) 13:00~15:00 げんきスポット0-3

審議事項 第1号議案 議事録署名人選出の件

第2号議案 第22年度事業経過報告承認の件

第3号議案 第22年度事業活動決算承認の件

第4号議案 第23年度事業計画承認の件

第5号議案 第23年度事業活動予算承認の件

第6号議案 定款変更承認の件

第7号議案 第23年度・第24年度の役員選出の件

【理事会】

理事10人、監事2人で構成。

会場 山科醍醐こどものひろば内「こども生活支援センター」、オンラインにて開催

開催日 2021年 4月24日(土)、6月2日(水)、8月1日(日)、12月19日(日)

2022年 3月27日(日)

【事務局会議】

法人事務に関して概ね月1回程実施し、業務遂行にあたった。

第23年度 各事業報告

	事業内容	実施日時	実施場所	従事者 (スタッフの 人数)	対象者の範囲 定員 参加人数	当初の予算額 (千円)	決算額 (千円)
舞台芸術 鑑賞活動	親子で楽しむ人形劇劇場 親子を対象として、プロ、アマの人 形劇公演を実施した。 ※京都新聞社会福祉事業団子育 て事業助成	11/2 12/25 2/26	・社会福祉総合 会館 ・ほんわかハウス ・東部文化会館	—	子どもとおとな のべ114人	—	127 (助成金100)
子どもが自 ら創る体験 活動事業	町たんけん 地域を知り、その中の出会いから 人と人がつながり、より良い地域 になることを目指した。小学生と のたんけん活動の他にも、幅広い 啓蒙活動(小学校や地域連携)を 予定していたが、コロナ禍で実施 出来なかった。	通年	地域一円	13人 (メインスタッフ・ ボランティア・講 師)	小学生11名 とその家族	262	240
子育てサ ポート事業	げんきスポット0-3(げろさん) 未就園児を持つ親と、その子ども 達のサポートを常設会場「げんき スポット0-3」にて実施する。屋根 のある公園を目指す。 ※京都市の委託事業	毎週火～土曜日	げんきスポット0- 3	21人 (スタッフ・ ボランティア・講 師)	地域の 子どもと大人 のべ3363人	6790 (委託金6519)	6766 (委託金6661)
	楽習サポートのびのび 集団活動が苦手な子どもや、学習 機会の少ない子ども、また経済的 等の理由で体験活動の機会がな い子どもへの個別(生活・学習・余 暇)支援事業。	通年	地域一円	—	—	—	—
	子どもの貧困対策事業 集団活動が苦手な子どもや、学 習機会の少ない子ども、また経済 的等の理由で体験活動の機会が ない子どもへの個別(生活・学習・ 余暇)支援事業。コロナ禍の影響 を受けた家庭に食材・衛生用品の 配布支援も実施。 ※京都地域創造基金事業指定助 成事業 ※近畿ろうきん「笑顔プラス」寄付	通年	地域一円	29人	子ども14人	4000 (助成金4000)	1540 (助成金1312)
	山科醍醐地域における子どもの 見守り強化事業 山科・醍醐地域における生活困窮 家庭、コロナ禍で経済的に困窮し た家庭に生活、学習、余暇、食材 支援を実施。 ※京都市支援対象児童等見守り 強化事業補助金 ※一般社団法人生活クラブ福祉 事業基金新型コロナウイルス感染拡大に よる緊急助成	通年	地域一円	12人	子ども47人	—	1600 (助成金600) (補助金1000)
	ひとり親家庭等への生活・学習・ 居場所サポート事業(子どもの貧 困対策事業) 伏見区醍醐・小栗栖地域を中心 に、小学校高学年の子どもとその 家族へのサポートを行う。 ※京都府委託金事業	通年	地域一円	29人	子ども: のべ359人 保護者: 9人	8450 (委託金8450)	9504 (委託金9504)
ボランティ アサポー ト事業	ボランティア・研修部 ボランティア希望者の、各事業へ のコーディネートを行なった。	通年	当法人事務所	4人	—	—	—
	講師派遣・インターンシップ受入 事業 当法人スタッフの講師派遣及び当 法人におけるインターン希望者の 受入を行う。	通年	地域一円	4人	—	1,500	527
	のびのび@たいむ のびのび事業の利用を終えた高 校生等の居場所とボランティア推 進事業。	通年	地域一円	2人	6人	—	—

	事業内容	実施日時	実施場所	従事者 (スタッフの 人数)	対象者の範囲 定員 参加人数	当初の予算額 (千円)	決算額 (千円)
広報・出版 事業	コッペパン 広報誌「コッペパン」の発行。	季刊	—	2人	1,000部を4回	—	—
	ひろばつうしん 会員向け情報誌「ひろばつうしん」 の発行。 イベントや活動の参加募集チラシ、 外部団体のチラシなども発送。	月刊	—	—	150部を12回	—	—
	ひろばの本 「貧困とひとりぼっちのないまち」 「まちの子どもソーシャルワーク」 の頒布を通じて、ひろばの広報や 社会への啓発を進める	通年	—	—	—	100	155
	サポートBOOK 「子どもの貧困課題に地域で取り 組む支援者のアクションサポート BOOK」の頒布、活用。 読書会の開催。	通年	—	—	—	—	—
	ホームページ 当法人におけるホームページの 定期的な更新情報の発信及び、 基本情報の公開を行う。	通年	—	—	—	—	—
ネットワー クづくり事業	分野連携ボランティアネットワーク 事業 当法人登録ボランティアと子ども 分野の活動団体とのネットワー クづくりを行う。	通年	—	—	—	—	—
	みんなの家 フリースペースとして開放。 (主催: 社会福祉協議会)	第1、第3、第5 月曜日	子ども生活支援セ ンター	—	—	—	—
	山科子育て応援団 社会福祉協議会を事務所として 山科で子育てサークルや子育て 支援をしている諸団体との交流を 行う。子育て支援サロンを開催す る。	通年	社会福祉協議会 他	—	—	—	—
	中学生勉強会(おぐりす・だいが ・醍醐支所) 生活保護受給者等中学生学習支 援プログラム。 ※京都市ユースサービス協会委 託事業	通年	醍醐事務所 トハウス 醍醐支所	22人	5人 5人 11人	2713 (委託金2713)	2713 (委託金2713)
	企業との連携 企業からのボランティア体験の受 け入れや、イベントでのボラン ティア呼びかけなど。	通年	—	2人	—	—	—